



各部の名称

装備の使いかた

点検整備について

万一の場合には

資料

Odyssey

助手席リフトアップシート車

オーナーズマニュアル

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

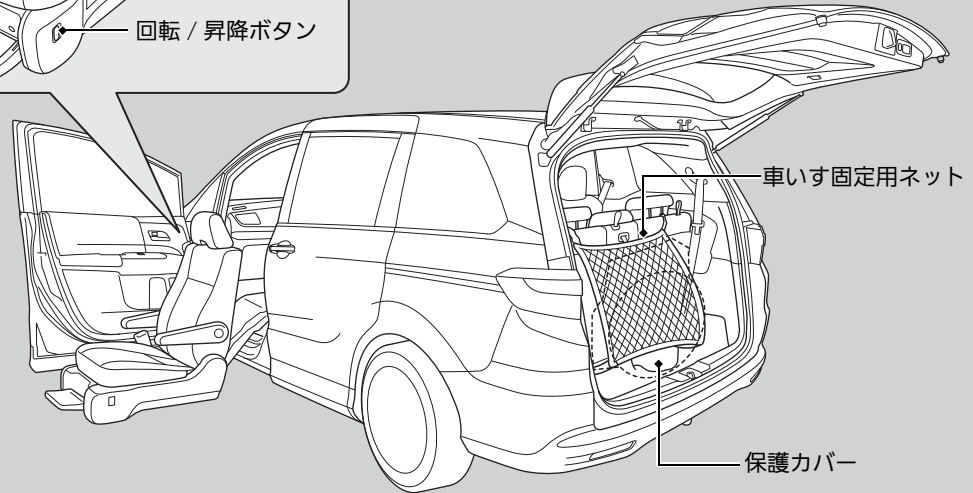
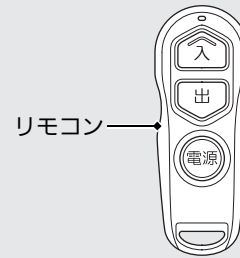
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

目次

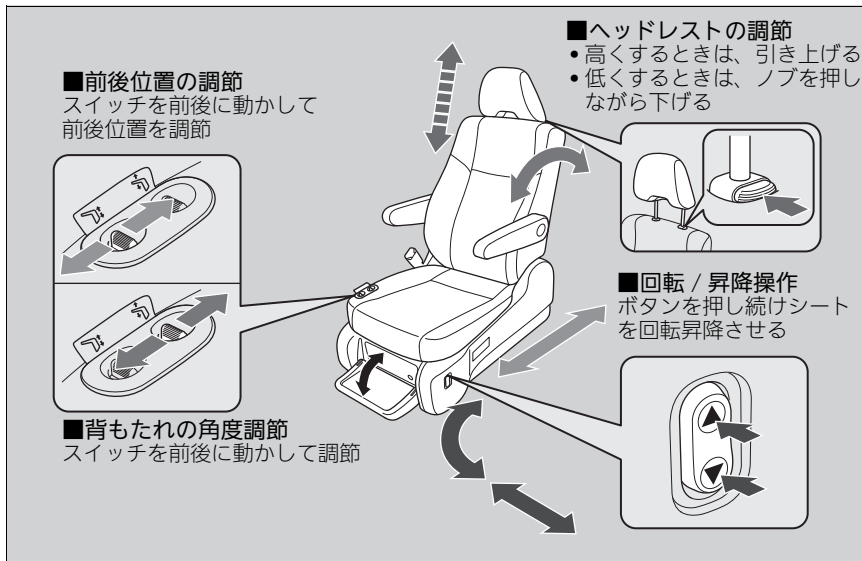
各部の名称	2	点検整備について	
装備の使いかた		リフトアップシートの点検.....	18
リフトアップシートの動かしかた.....	3	万一の場合には	
リフトアップシートのリモコンの使い		工具の種類.....	21
かた.....	5	シートが回転、昇降できないとき.....	22
シートへの乗り降り.....	6	シートが正常に作動しないとき.....	24
はさみ込み防止機構.....	11	資料	
シートベルト.....	11	仕様.....	33
チャイルドシート固定装置.....	12	収納可能な車いすのサイズ.....	34
サードシート.....	15		
車いすの収納のしかた.....	16		

各部の名称

リフトアップシート



リフトアップシートの動かしかた

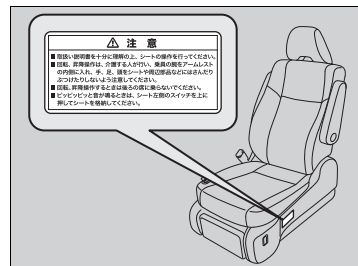


リフトアップシートの動かしかた

注意

回転昇降の操作時は、下記のことを守る。
シートの操作を誤ると、重大な傷害を受け
るおそれがあります。

- ・グローブボックスが閉じていること、
助手席サンバイザーが格納されている
ことを確認する
- ・シート操作前に、シート下降位置周辺
に障害物がないことを確認する
- ・回転、昇降操作は介助するかたが行
い、手、足、頭などをはさんだりぶつ
けたりしないように十分注意する
- ・お子さまには操作させない
- ・助手席側の後部座席に座らない



リフトアップシートには、チャイルドシート
を取り付けしないでください。
このシートでチャイルドシートを使用する
ことはできません。

■ リフトアップシートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。

低くするとき：ノブを押しながら下げます。

☒ リフトアップシートヘッドレストの調節

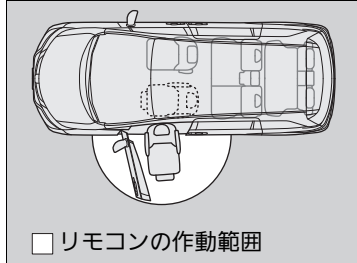
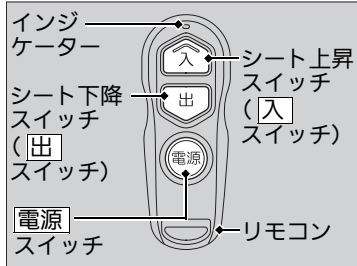


警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

リフトアップシートのリモコンの使いかた



■電源スイッチ

電源スイッチを押すとリモコンの電源が入り、インジケーターが点灯します。

リモコンの電源スイッチを押してから約6秒以内にシート上昇スイッチまたはシート下降スイッチを押さないと、自動的にリモコンの電源が切れます。

■シート上昇スイッチ(入スイッチ)

シート上昇スイッチを押すとシートが上昇し、回転しながらスライドして格納位置に戻ります。

■シート下降スイッチ(出スイッチ)

シート下降スイッチを押すとシートが回転しながら車外へスライドし、下降します。

シート上昇スイッチやシート下降スイッチを押している間は、回転昇降動作が作動します。停止したい場合は、シート上昇スイッチやシート下降スイッチから指を離してください。

▶▶ リフトアップシートのリモコンの使いかた

リモコンは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
 - 分解しない
 - 改造しない
 - リモコンに印字されている技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない
- 分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

リモコンの故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- リモコンを落としたり、重いものをのせない
- リモコンに液体をかけない
- 砂や埃を避ける
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。

電源スイッチを押した時にインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

▶▶ リフトアップシートリモコンの電池交換

P.20

リモコンは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

シートへの乗り降り

セレクトレバーが **P** のときに行えます。

パーキングブレーキをかけ、助手席ドアをいっばいに開けてから、リフトアップシートに付いている回転 / 昇降ボタンまたはリモコンで操作します。

平坦な場所で周囲の安全を確認して行ってください。

※シートへの乗り降り



シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。

万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

アドバイス

リフトアップシートの最大回転昇降能力は100kgまでです。

これを超えての回転昇降操作は、破損の原因となります。

■ リフトアップシートの上げかた

1. フットプレートを前に倒す。
2. 車いすなどから乗り換え、アームレストを前に倒す。
 - ▶ 座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認します。

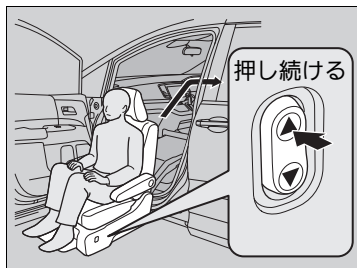
※ シートへの乗り降り

注意

次の場合はシートを使用しない。

ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- シートが走行位置(格納位置)に戻らないとき
- シートを走行位置(格納位置)に戻しても「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるとき



3. 回転/昇降ボタンの上側を押し続ける。リモコンを使用するときは、リモコンの電源スイッチを押しインジケータが点灯後、シート上昇スイッチを押し続ける。
 - ▶「ピー」とブザーが鳴り、シートが車内側へ上昇します。
 - ▶上昇が終了するとスライドしながら回転して走行位置(格納位置)に戻ります。
 - ▶途中でスイッチから手を離せば、その場で停止します。
 - ▶シートは走行位置まで確実に戻してください。「ピピッ」というブザーが鳴り、シートが停止するまでスイッチを押し続けてください。

※シートへの乗り降り

アドバイス

シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

アドバイス

走行中はフットプレートに足を乗せない。
必要以上の体重がかかり、フットプレートが破損するおそれがあります。

■ リフトアップシートの降ろしかた

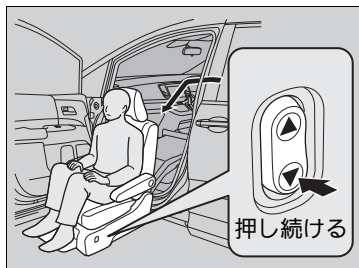


1. シートベルトが外してあることを確認する。
2. アームレストを前に倒す。
▶座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認します。
3. フットプレートを前に倒して足を乗せる。

※シートへの乗り降り

アドバイス

フットプレートに体重をかけたり、ステップのかわりにしないでください。
フットプレートが破損するおそれがあります。



4. 回転/昇降ボタンの下側を押し続ける。リモコンを使用するときは、リフトアップシートから約1m以内でリモコンの電源スイッチを押しインジケーターが点灯後、シート下降スイッチを押し続ける。
▶「ピー」とブザーが鳴り、回転しながら車外へスライドし、下降します。
▶途中でスイッチから手を離せば、その場で停止します。
5. アームレストを上げて、車いすなどに乗り換える。

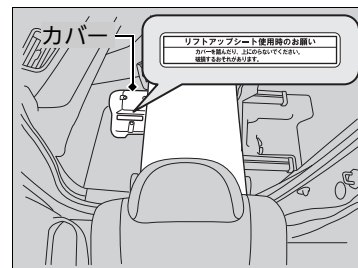
※シートへの乗り降り

注意

カバーおよびロールシャッターの上に乗ったり物を置いたりしない。

シート作動時に、機構部に近づかない。

はさまれたり、巻き込まれたりするおそれがあります。



はさみ込み防止機構

シートを回転しているときに、異物のはさみ込みを検知すると、はさみ込み防止機構が作動します。

はさみ込み防止機構が作動すると、「ピーピーピー」とブザーが鳴り、自動的にシートが反転し、止まります。

シートベルト

■ シートベルトリマインダー

この車の助手席リフトアップシートには、シートベルトリマインダーは装備されていません。

ⓧ はさみ込み防止機構

注意

シートを回転昇降する前に周囲の安全を必ず確認する。

はさみ込み防止機構は、万一のときに、乗員や介護者が車体にぶつかったり、はさまれたときに、重大な傷害を受けるのを防ぐためのものですが、はさみ込みを検知できない領域があります。

チャイルドシート固定装置

チャイルドシートの取り扱いについては、ODYSSEY取扱説明書もいっしょに確認してください。

※チャイルドシート固定装置

注意

お子さまをチャイルドシートに乗せた状態で回転昇降の作動を行わない。

お子さまの手や足がピラーやスライドドアに当たり、けがをするおそれがあります。

注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

ロアアンカレッジ周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

■ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。

次ページの表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

※ シートベルトで固定するチャイルドシートについて

チャイルドシートに関する国連の安全基準である UN-ECE R44 に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

チャイルドシートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

■シートベルト固定タイプチャイルドシート

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

重量区分	前席 助手席	座席位置						推奨チャイルドシート*1
		右席	二列目席		三列目席			
			左席	中央席	右席	左席	中央席	
グループ0 ～ 10kg	X	X	X	X	U	U	U*2	Honda スタンダード
グループ0+ ～ 13kg	X	L*3	L*3	L*3	U	U	U*2	Honda スタンダード
グループI 9kg～18kg	X	UF	UF*2	UF	U	U	U*2	Honda スタンダード
グループII 15kg～25kg	X	UF	UF*2	UF	U	U	U*2	Honda ジュニアシート
グループIII 22kg～36kg	X	UF	UF*2	UF	U	U	U*2	Honda ジュニアシート

記号の説明

U : 汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを装着できることを示す。

UF : 汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを前向きに装着できることを示す。

L : 添付のリストに記載された特定幼児拘束装置(CRS)を装着できることを示す。

X : チャイルドシートを装着できないことを示す。

*1 : ホンダ推奨の純正チャイルドシートです。詳しくは販売店にお問い合わせください。

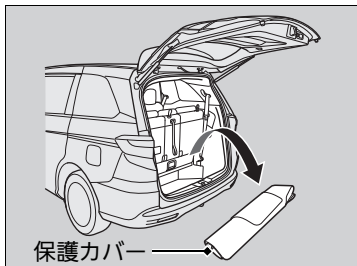
他のチャイルドシートも使用に適しているものもありますが、チャイルドシートメーカーにご確認ください。

*2 : チャイルドシートを取り付ける場合、シートバックを最も前のロック位置に調節すること。

*3 : 後ろ向きに装着できることを示す。

サードシート

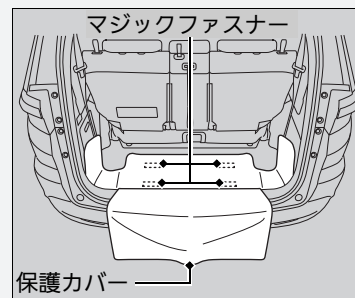
■ 格納



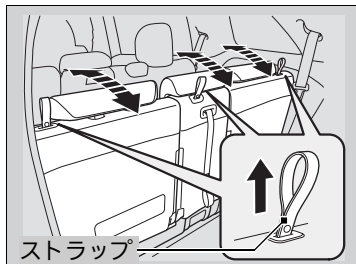
サードシートの格納は、保護カバーを取り外してから行ってください。
サードシート格納の詳細は、ODYSSEY取扱説明書をご覧ください。

▣ サードシート

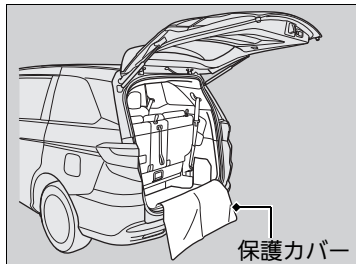
保護カバーは、マジックファスナーでカーゴスペースのフロアに固定されています。



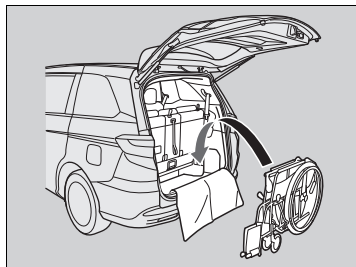
車いすの収納のしかた



1. テールゲートを開ける。
2. ストラップを引いて、サードシートの背もたれを一番起こした位置に調節する。



3. 保護カバーを引き出し、バンパーにかぶせる。



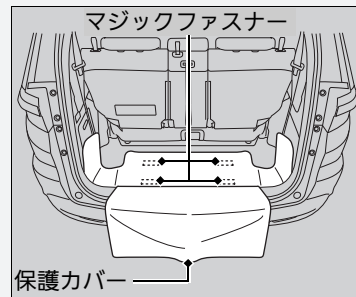
4. 車いすを折りたたみ、横向きに乗せる。
▶ 車いすのブレーキをかけてください。

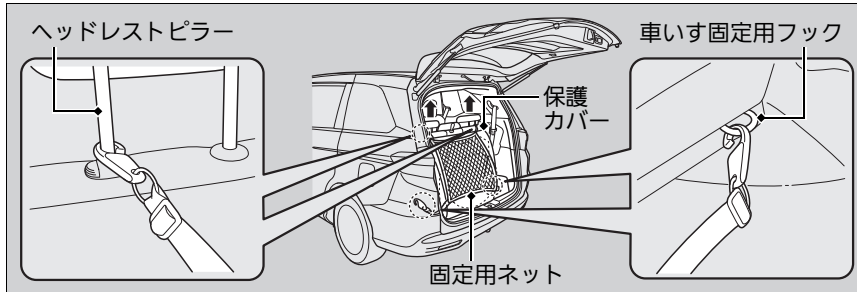
※車いすの収納のしかた

⚠ 注意

車いすは、必ず車いすのブレーキをかけてから固定用ネットで確実に固定する。
走行中、車いすが不安定になり思わぬ事故につながるおそれがあります。

保護カバーは、裏面のマジックファスナーでフロアカーペットに固定します。





5. サードシートのヘッドレストを上へ引き上げる。
6. 保護カバーを車いすにあてながら、固定用ネットのフックを、車いす固定用フックとヘッドレストピラーにかけて車いすを固定する。
▶ 車いすをゆすって、確実に固定されていることを確認します。

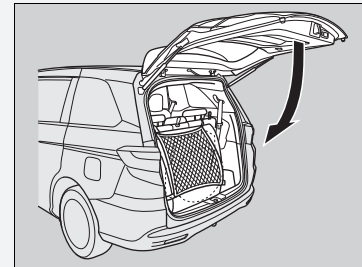
■ 車いすを取り出すとき

車いすを取り出すときは、収納したときの逆の手順で取り出します。

※ 車いすの収納のしかた

車いすがぐらついたり、固定用ネットがきついときは、固定用ネットのベルトの長さを調節します。

テールゲートを閉めるとき、車いすにテールゲートが接触しないよう注意してください。車いすがテールゲートと背もたれにはさみ込まれ、変形する可能性があります。

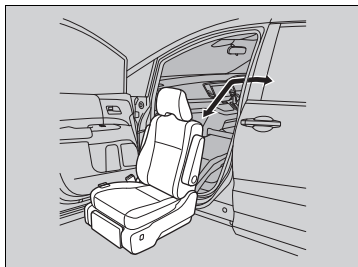


リフトアップシートの点検

リフトアップシートの点検は、日常点検と定期点検があります。日常点検は使用状況に応じ、お客様の判断で適時行ってください。定期点検は、12 か月および24 か月ごとに Honda 販売店に依頼してください。

■日常点検

日常のリフトアップシートの使用状況に応じ、お客様の判断で適時行う点検です。



■回転、昇降スピード、異音の点検

シートを回転、昇降させ、スピードが著しく遅くないか、異音がないかを点検します。

☒リフトアップシートの点検

リフトアップシートの点検整備方式は、下表の通りです。

点検整備項目	点検時期		
	日常点検	12 か月ごと	24 か月ごと
リフトアップシート部	○		
回転、昇降スピード、異音			
各取付部のゆるみ、がた、損傷		○	○
ブザーの作動	○		

部品の交換は、Honda 販売店に依頼してください。

☒日常点検

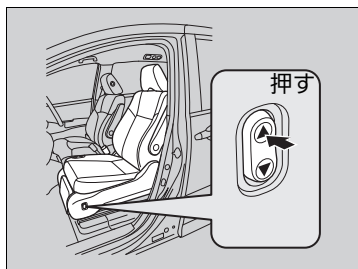
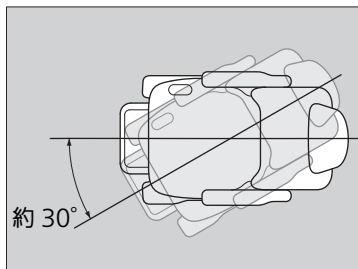
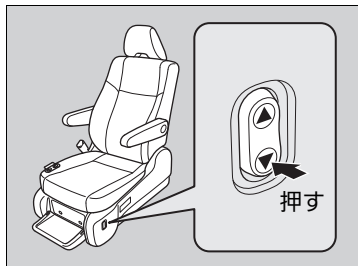
回転昇降操作は、リフトアップシートのリモコンでも行えます。

☒ リフトアップシートのリモコンの使いかた

P.5

■ブザーの作動点検

下記のようにブザーが鳴ることを点検します。



1. 回転 / 昇降ボタンの下側またはリモコンのシート下降スイッチを押して、シートが作動を始めるときに「ピーッ」とブザーが鳴ること。
2. パワーモードがONモードで、助手席ドアが閉まっている状態のときに、シートが回転を開始した直後から約 30° 以下の位置にあると、「ピピピッ」とブザーが鳴り続けること。
3. 回転 / 昇降ボタンの上側またはリモコンのシート上昇スイッチを押して、シートが走行位置(格納位置)まで戻ったときに「ピピッ」とブザーが鳴ること。

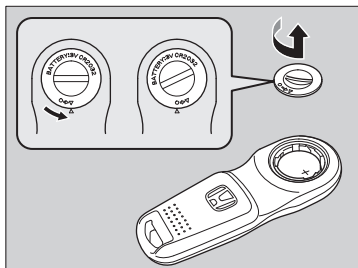
☒ブザーの作動点検

シートを走行位置(格納位置)に戻しても「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるときは、回転 / 昇降ボタンを操作してブザーが止まるまでシートを回転させてから、再び走行位置(格納位置)まで戻してください。

それでも「ピピピッ」とブザーが鳴り続けるときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

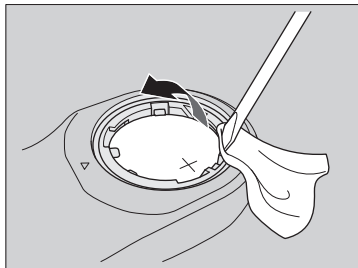
■ リフトアップシートリモコンの電池交換

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。ボタンを押したときにインジケータが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。



ボタン電池: CR2032

1. コインなどを使い、電池カバーを矢印の方向に回して外す。
2. 電池固定部の隙間にマイナスドライバーの先端を差し込み、電池を取り外す。
▶ ショートさせないように、ドライバーに布などを巻き付けてください。
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。
▶ 交換後、元のように電池カバーを取り付けます。



☒ リフトアップシートリモコンの電池交換



警告

**ボタン電池は、お子さまが飲み込まないように注意する。
重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
飲み込んだ時は、ただちに医師の診察を受けてください。**

リフトアップシートリモコンをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

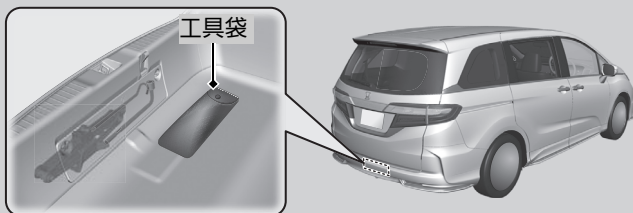
電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

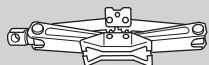
万一の場合には

工具の種類

工具の取り出しかたは、ODYSSEY 取扱説明書をご覧ください。



カーゴスペースのリッド内に収納



ジャッキ



ジャッキ
ハンドルバー



ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)

グローブボックス内に収納



マイナスドライバー



グリップ

工具袋に入れてカーゴスペース内に収納



ハンドルバー



ドライバー



グリップ



ボックスレンチ
(19mm)



スクエアボックス
レンチ(10mm)



ボックスレンチ
(10mm)



ボックスレンチ
(21×12mm)



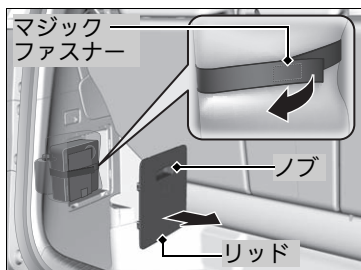
ヒューズプーラー

シートが回転、昇降できないとき

シートが回転、昇降できないときは、車のバッテリーを点検してください。
バッテリーがあがっていないときは、パワーモードを OFF モードにして、ヒューズが切れていないか確認します。
バッテリーやヒューズの交換は、シートを走行位置(格納位置)にした状態で行ってください。

ヒューズが切れていないのにシートが回転、昇降できないときは、装置の故障が考えられますので、Honda 販売店で点検を受けてください。

室内カーゴスペース左側のヒューズボックス



1. ノブを引いてカーゴスペース左側のリッドを開ける。
2. マジックファスナーを外し、タイヤパンク応急修理キットを取り出す。

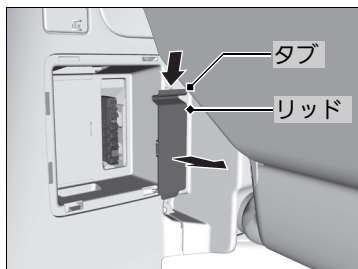
室内カーゴスペース左側のヒューズボックス

リッドの裏側に貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。
交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

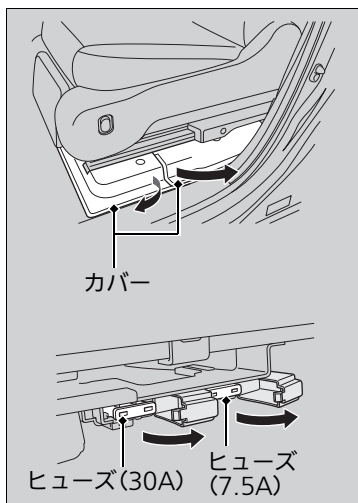


3. タブを押してリッドを開ける。

■ヒューズの装備と容量

表示	装備	容量
7	リフトアップシート	(40A)

■リフトアップシートのヒューズ



リフトアップシート左側にあります。

カバーをめくってください。

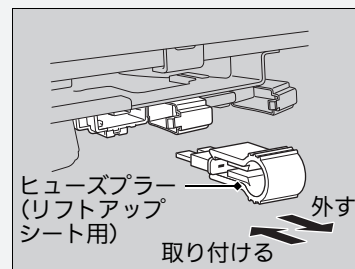
■ヒューズ規定容量

前側：30A

後側：7.5A

※リフトアップシートのヒューズ

工具袋には、リフトアップシート左側に付いているヒューズを交換するためのヒューズプラーが入っています。



シートが正常に作動しないとき

■スイッチを押すとシートが動くとき

システムに異常が発生すると、回転 / 昇降ボタンを操作したときに、リフトアップシートが通常とは違う作動をすることがあります。

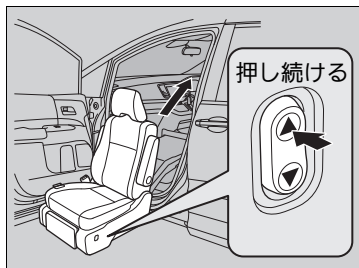
また、バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、「ピーピーピー」とブザーが鳴り続けます。

その場合は、以下の手順にしたがってボタンを操作し、リフトアップシートを走行位置(格納位置)まで戻してください。

格納後は、なるべく早く、Honda 販売店で点検を受けてください。



1. アームレストを戻し、フットプレートを収納する。



2. 回転 / 昇降ボタンの上側を押し続けて、シートが止まるまで上昇させる。

※シートが正常に作動しないとき

⚠ 注意

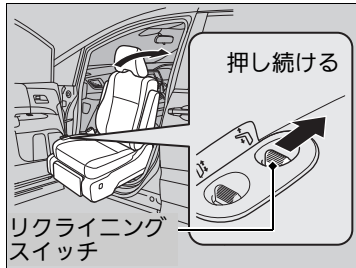
格納操作を行うときは、以下のことに注意する。

- 回転昇降シートに座らない
- セカンドシート(左側)には人を乗せない

シートが正規の軌道を通らないため、手や足などをはさむおそれがあります。

バッテリーやヒューズを外して再接続したときは、復帰操作を行うまでリフトアップシートを使用しない。

また、故障などにより格納操作を行ったあとは、Honda 販売店で点検、修理が完了するまではリフトアップシートを使用しないでください。シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。



3. リクライニングスイッチを後側に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込む。

※シートが正常に作動しないとき

注意

リフトアップシートが通常と違う作動をするときは、リフトアップシートを使用しない。

また、故障などにより格納操作を行ったあとは、Honda 販売店で点検を受けるまでリフトアップシートを使用しないでください。シートが正常に作動しなかったり、思わぬけがをすることがあります。

手動格納操作の途中でスイッチから手を離すと、「ピー」とブザーが鳴ります。

復帰操作を行ったあとは、回転 / 昇降ボタンを操作し、シートが正常に作動することを確認してください。



4. シートが車体に接触しないように前後左右を確認しながら、下記のスイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納(後ろに下げる)する。

シートスライドスイッチを前側に押す：
シートが車内側へ回転

シートスライドスイッチを後側に押す：
シートが後方へスライド

リクライニングスイッチを前側に押す：
背もたれが起きる

※シートが正常に作動しないとき

シートが車体に接触しそうなときは、下記のスイッチ操作も組み合わせて走行位置(格納位置)まで戻してください。

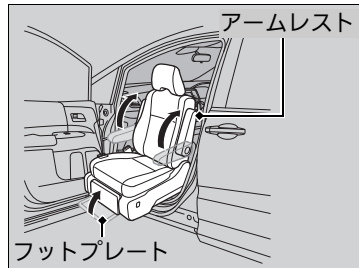
- **回転 / 昇降ボタンを下側に押しながら、シートスライドスイッチを前側に押す：**シートが外側へ回転
- **回転 / 昇降ボタンを下側に押しながら、シートスライドスイッチを後側に引く：**シートが前にスライド
- **回転 / 昇降ボタンを下側に押しながら、リクライニングスイッチを前側に押す：**背もたれが倒れる
- **回転 / 昇降ボタンを下側に押しながら、リクライニングスイッチを後側に引く：**シートが車輻の外側へスライド

ボタンを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

装置の故障が考えられますので、Honda 販売店へご連絡ください。
もし、連絡ができない場合は、下記の方法でリフトアップシートを手動で格納してください。

格納後は、なるべく早く、Honda 販売店で点検を受けてください。

■シート昇降の途中で動かなくなったとき



1. 室内カーゴスペース左側のヒューズを外す。
☑ 室内カーゴスペース左側のヒューズボックス P.22
2. アームレストを戻し、フットプレートを収納する。

☑ ボタンを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

⚠ 注意

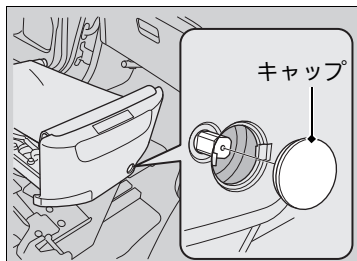
リフトアップシートを手動で格納したときは、リフトアップシートを使用しない。
ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

手動で格納操作を行うときは、シートの可動部分に手をはさまないよう十分に注意する。

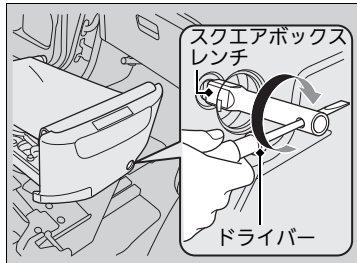
回転 / 昇降ボタンを押してもシートが動かないときは、Honda 販売店で点検、修理を受ける。

点検、修理が完了するまではリフトアップシートに座らないでください。ロックが解除されたままになっている可能性があるため、走行中にシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが回転途中で動かなくなったときや、回転 / 昇降ボタンを押してもブザーが鳴らず、シートも動かないときは Honda 販売店へご連絡ください。



3. キャップを取り外しリフトアップシート後部にある昇降モーター回転軸の位置を確認する。



4. スクエアボックスレンチにドライバーを奥まで差し込み、昇降モーター回転軸を矢印の方向に回して、下降前の位置に戻す。

▶シートが車内に引き込まれます。

▶ボックスレンチはゆっくり回してください。

5. 室内カーゴスペース左側のヒューズを取り付ける。



6. リクライニングスイッチを後側に押し続けて、シートが止まるまで車内側へ引き込む。

※ボタンを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき

⚠ 注意

ボックスレンチを使用するときは、レンチが回転軸から外れたり、手をはさまないように十分注意する。

アドバイス

シートが下降前の位置に戻ったら、回転軸を回さない。

シートが下降前の位置に戻ったあとも、回転軸を無理に回すと、昇降モーターが破損するおそれがあります。



7. シートが車体に接触しないように前後左右を確認しながら、下記スイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納(後ろに下げる)する。

シートスライドスイッチを前側に押す：

シートが車内側へ回転

シートスライドスイッチを後側に押す：

シートが後方へスライド

▶シートが接触しそうになったら必要に応じてリクライニングスイッチを前側に押してください。

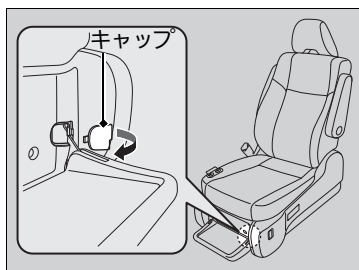
■シートが外スライドの途中で動かなくなったとき



1. 室内カーゴスペース左側のヒューズを外す。

❑ 室内カーゴスペース左側のヒューズボックス
P.22

2. アームレストを戻す。



3. キャップの切り欠き部にマイナスドライバーの先端を差し込み、キャップを取り外す。

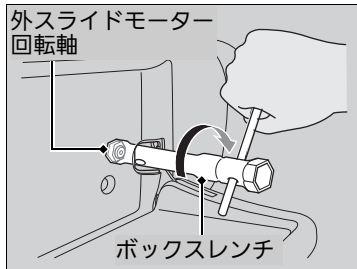
▶キャップが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

※シートが外スライドの途中で動かなくなったとき

アドバイス

シートが外スライド前の位置に戻ったら、回転軸を回さないでください。

外スライド前の位置に戻ったあとも、回転軸を無理に回すと、外スライドモーターが破損するおそれがあります。



4. 外スライドモーター回転軸をボックスレンチで矢印の方向に回して、外スライド前の位置に戻す。
▶シートが車内へスライドします。
5. 室内カーゴスペース左側のヒューズを取り付ける。



6. シートが車体に接触しないように前後左右を確認しながら、下記のスイッチ操作を交互に繰り返して「ピッ」とブザーが鳴る位置までシートを格納(後ろに下げる)する。

シートスライドスイッチを前側に押す：

シートが車内側へ回転

シートスライドスイッチを後側に押す：

シートが後方へスライド

▶シートが接触しそうになったら必要に応じてリクライニングスイッチを前側に押してください。

■シートが回転、前後スライドの途中で動かなくなったとき

Honda 販売店で点検を受けてください。

仕様

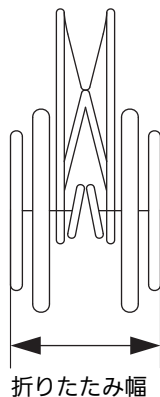
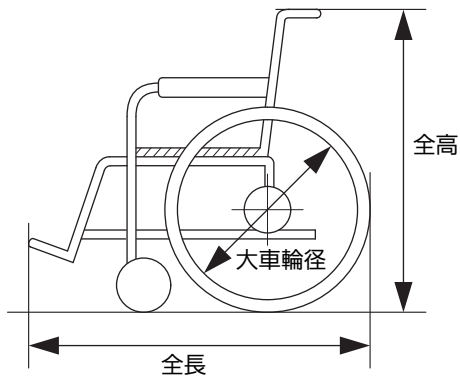
項目	サービスデータ
最大回転昇降能力(kg)	100
乗車定員	8人

収納可能な車いすのサイズ

収納可能な車いすのサイズは下表の通りです。車いすを購入する際にあらかじめ確認してください。

なお、下表の条件を満たしていても、車いすの形状によっては搭載できない場合があります。

車いすのタイプ	自走式、介護式
大車輪径(インチ)	24 以下
全高(mm)	890 以下
全長(mm)	1,060 以下
折りたたみ幅(mm)	330 以下
重量(kg)	18 以下



お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず Honda 販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センター
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010^{イフレアイオ}

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、
あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談
ください。

- ① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
- ② 車種名、タイプ名、走行距離
- ③ ご購入年月日
- ④ 販売店名